

これからは誰もがターゲット！『標的型サイバー攻撃』から大学を守る

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
コミュニケーションサービス事業部 田中 雅弘

【概要】

今年も特定の大学や研究機関を狙った『標的型攻撃』による大規模な情報漏えい事故が多数報告されており、もはや、対岸の火事では済まされない、誰もがターゲットになり得る時代になったと言えます。そのような中で大学の大切な情報資産をどのように守っていけば良いのか？その対策が多くの大学で急務となっているのではないのでしょうか。

『標的型攻撃』対策のポイントは『多層防御』にあります。本セッションでは、『多層防御』の勘所とその効用についてご説明するとともに、長年に渡り、ログ収集、管理、分析にこだわったセキュリティ・ソリューションを展開してきた当社ならではの視点で、様々な脅威下においても情報を漏えいさせない具体的な対策をご紹介します。

【このような方々に特にお勧めです】

- ・ 標的型攻撃対策、情報漏えい対策に関心がある方
- ・ 情報漏えい対策で陥りがちな罠に関心がある方
- ・ 多層防御に関心がある方
- ・ U T M（統合脅威管理）に関心がある方

『標的型攻撃』対策のキーポイント 多層防御セキュリティ

システム上の様々なログを横断的に関連づけることで“多層防御”を実現！

エンドポイントとネットワークセキュリティの強化が大学を守ります！

